

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名	チャレンジラボ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	法令を遵守している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	子どものニーズに合わせて基準よりも多くの人数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	必要に応じて時間や空間をスケジュール等により視覚化することにより配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日々の清掃を決めた手順で行い、子どもたちが快適に過ごせる環境を維持するよう努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの状況やニーズに応じて相談室を活用して支援を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員ミーティング内で事業所の目標や支援内容について話し合い、振り返りと改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケート結果により改善できることを確認し迅速に改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員ミーティング内で出た意見を業務改善に反映させている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		外部評価は実施していない。今後の導入に向けて検討を進める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事業所内の研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページ上で公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	子供達には定期的にあセスメントを行い、丁寧に計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	スタッフ全員でミーティングを行い、内容を共有し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	スタッフ全員で共有し、より良い支援に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の行動観察の中で、子どもの状況をモニタリングしている。	標準化されたアセスメントツールの使用も状況に応じて検討する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子どものニーズに合わせた本人中心の計画を設計している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員ミーティング内で個々の子どもに配慮したプログラムの立案に努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	幅広い活動をプログラムに組み込むよう努めている。	
援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別・集団のトレーニングに参加できるように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	来所する子どもの特性と支援計画をチームで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	より良い支援に繋げるための情報共有と検討を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援内容を記録し振り返ることで、支援の質の向上を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6ヶ月に1回以上の面談・モニタリングの機会を取り、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	4つの基本活動を組み合わせ多様な活動を用意し支援を行っている。	地域資源の活用は今後の課題。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	「参加できない」、「したくない」も含め、自己決定できるように配慮している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管・担当者が参加している。	
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保護者様に同意をいただいた上で、できる限り学校訪問を行っている。	
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0	電話やカンファレンスによる情報共有を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じ、保護者の同意を得たうえで情報共有を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	必要に応じ、保護者の同意を得たうえで情報共有を行っている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		現状定期的な連携は行っていないが、必要に応じて助言を受けられるような体制づくりに努める。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現状は地域交流については行っていない。ニーズに合わせて検討する。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		本年度は不参加であったが、積極的に参加を検討する。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者様による送迎時にお声かけをするようにしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	年に1回以上の保護者勉強会・交流会を実施している。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に保護者と読み合わせを行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	潜在的ニーズも考慮して計画作成を行い、計画については子どもと保護者双方に説明を行っている。	意向を確認するようにしているが、保護者様の意向を反映する傾向にある。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	できるだけ保護者面談に来ていただき、説明を行っている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	きめ細かく面談を実施するようにしている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	今年度の保護者交流会で、共通の悩みを持つ保護者様同士を同じグループにできたことで、より深くサポートできた。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情受付担当を設置し対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	主にブログを活用することで情報発信をしている。	ホームページの情報公開についても検討する必要がある。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護方針を定め、取扱いに十分注意している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	必要に応じて筆談等のツールを活用している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域住民を対象とした取り組みは行っていないが、今後の課題として検討する。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルを整備し、職員に周知している。	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し、避難訓練を年2回実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	インテーク時に確認を行っている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	インテーク時に確認を行い、取り組みの中で食品を用いる際は扱いに十分注意するようにしている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、研修と避難訓練を実施している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	面談時に保護者との情報共有を行っている。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎日のミーティングの中で気付いたことを発表する時間を設けている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を実施し、意識向上を図っている。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束は行わない原則の上で、やむを得ない場合の対応についての研修を実施している。		